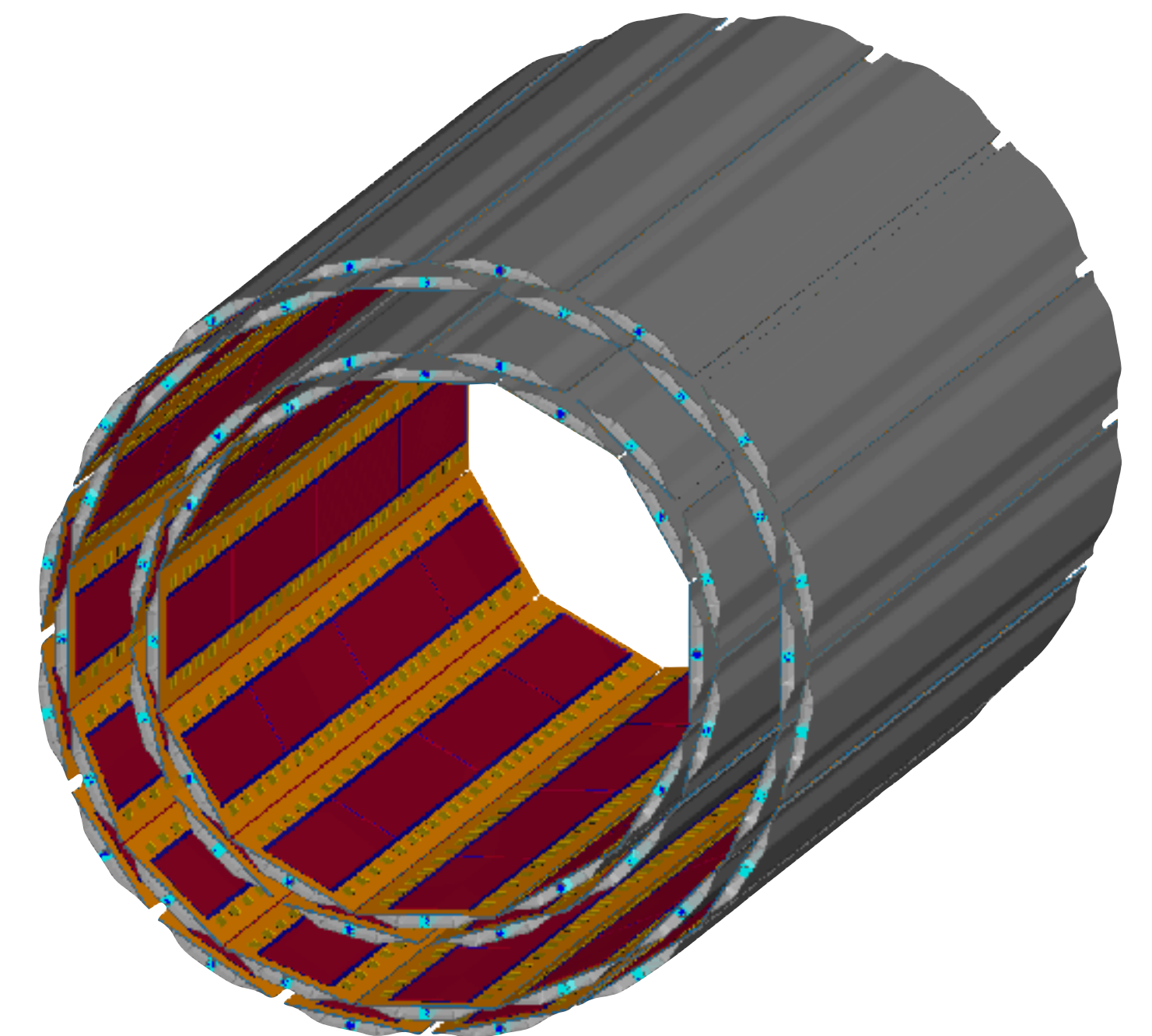
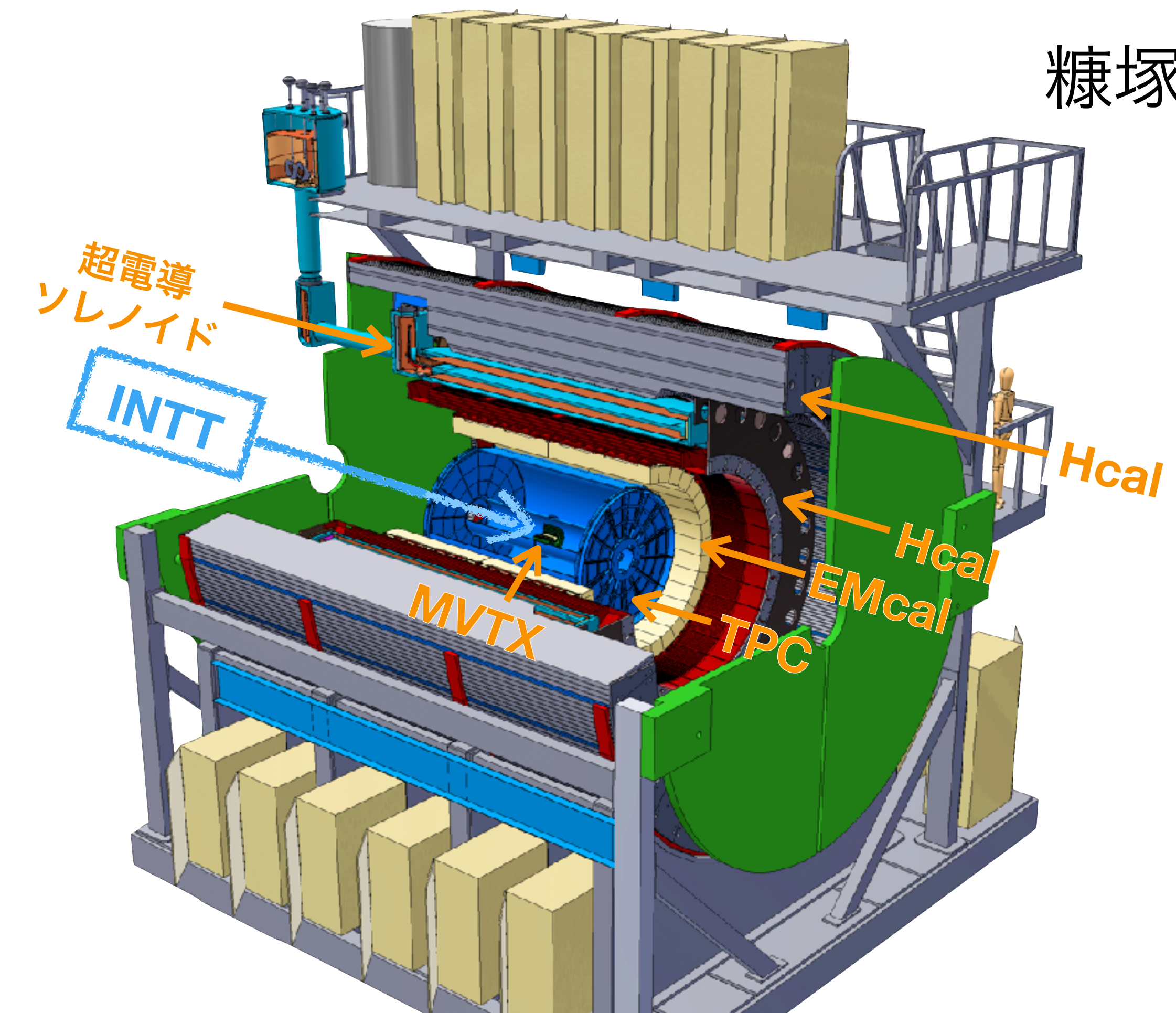


# BNL の状況

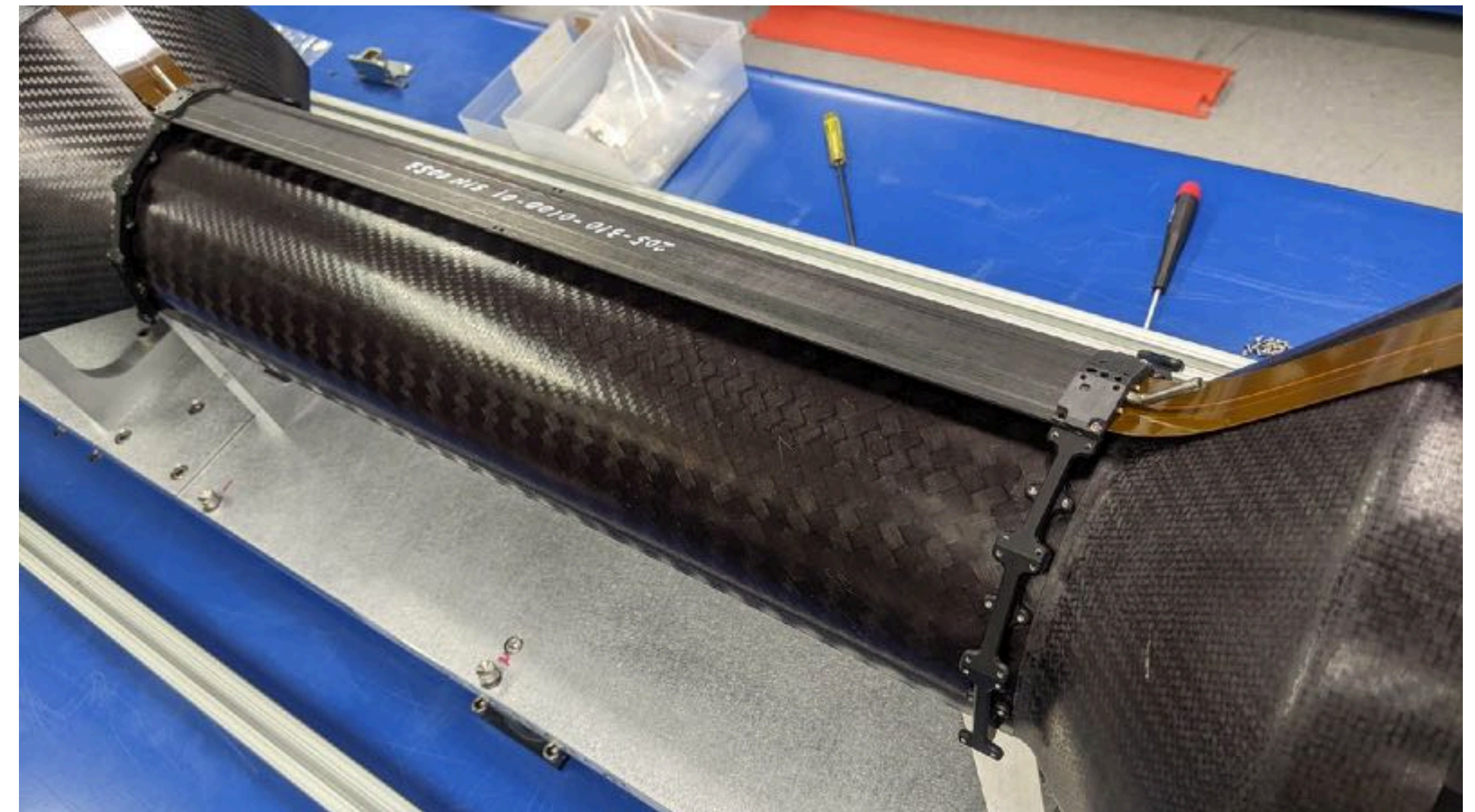
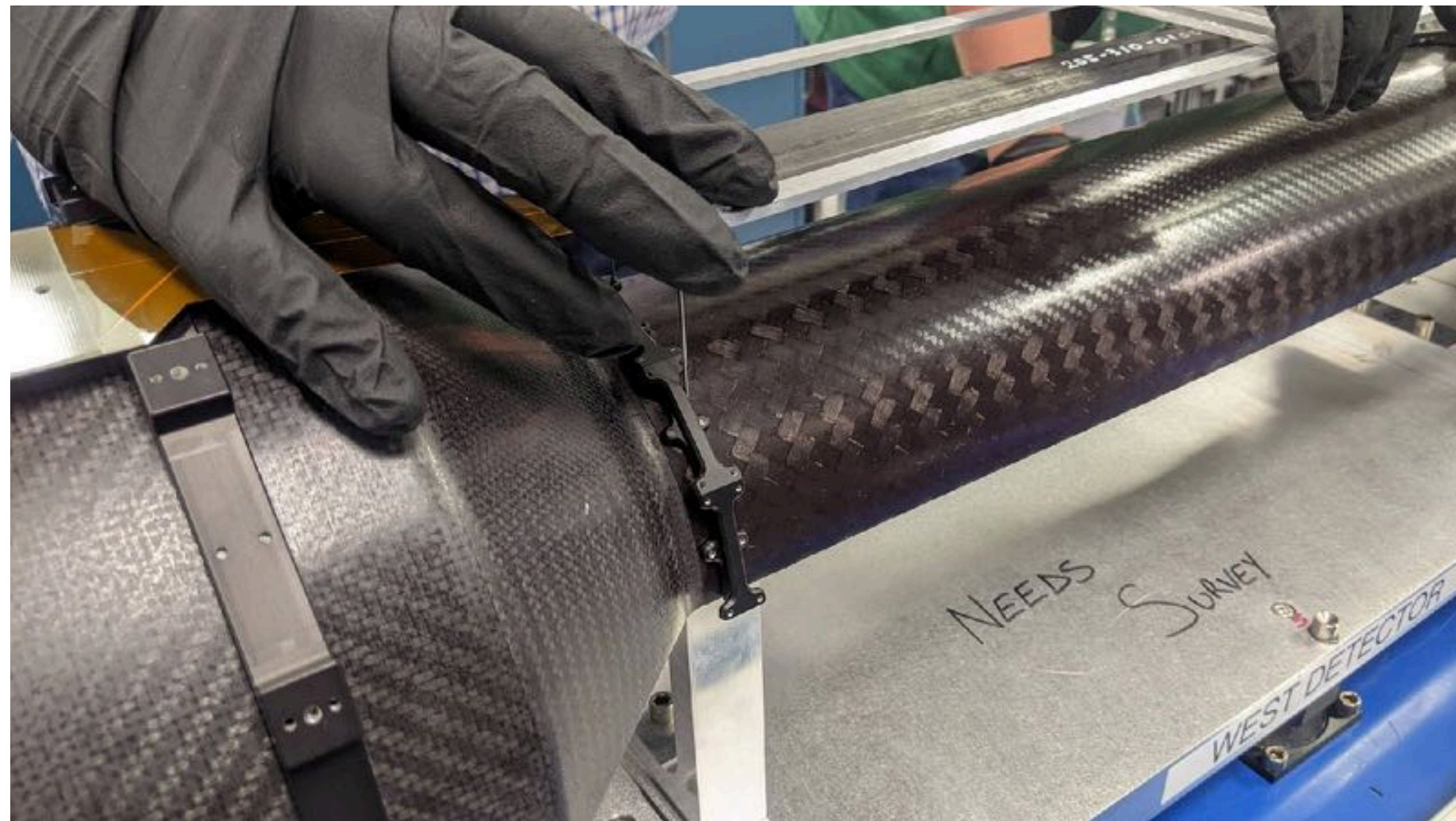
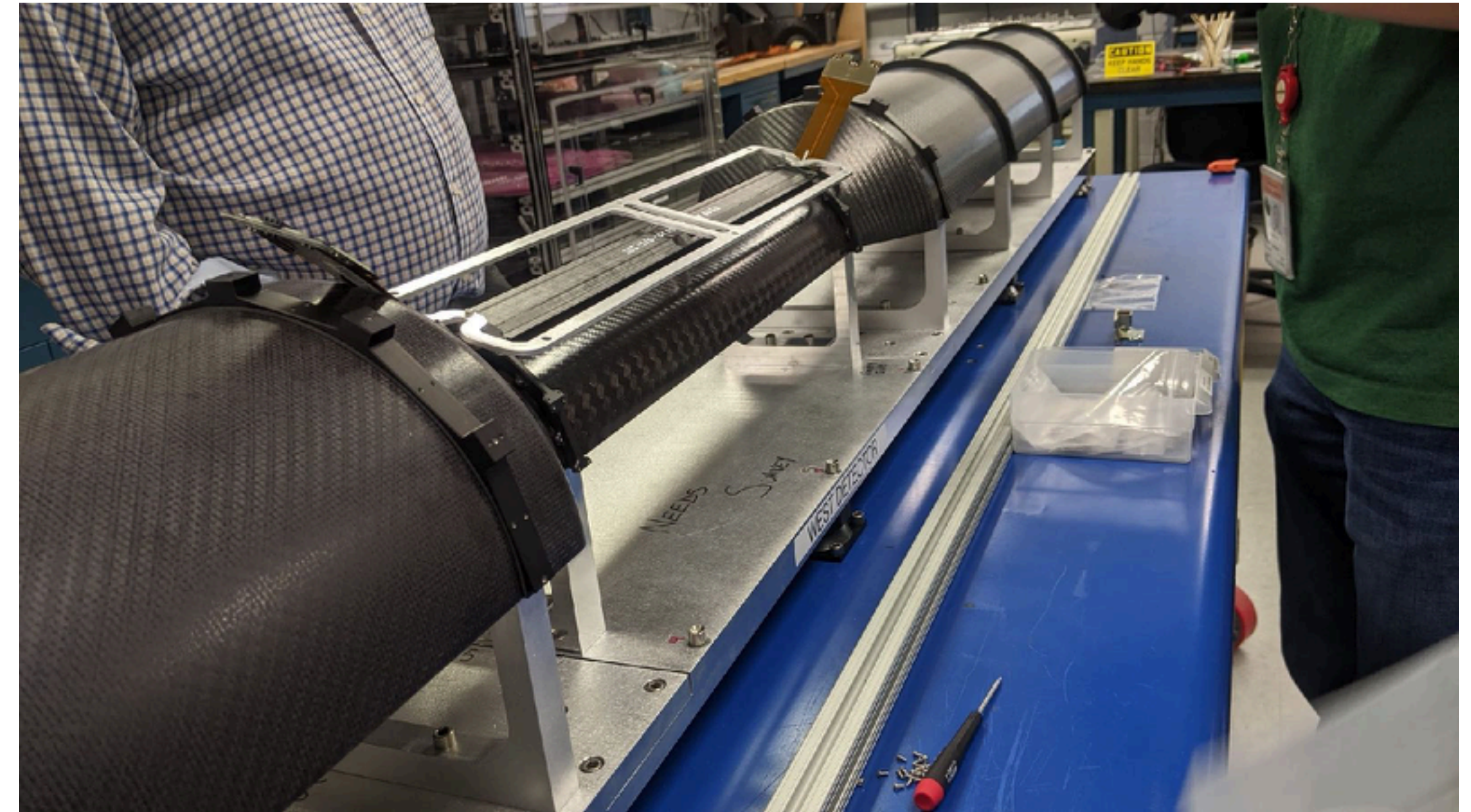
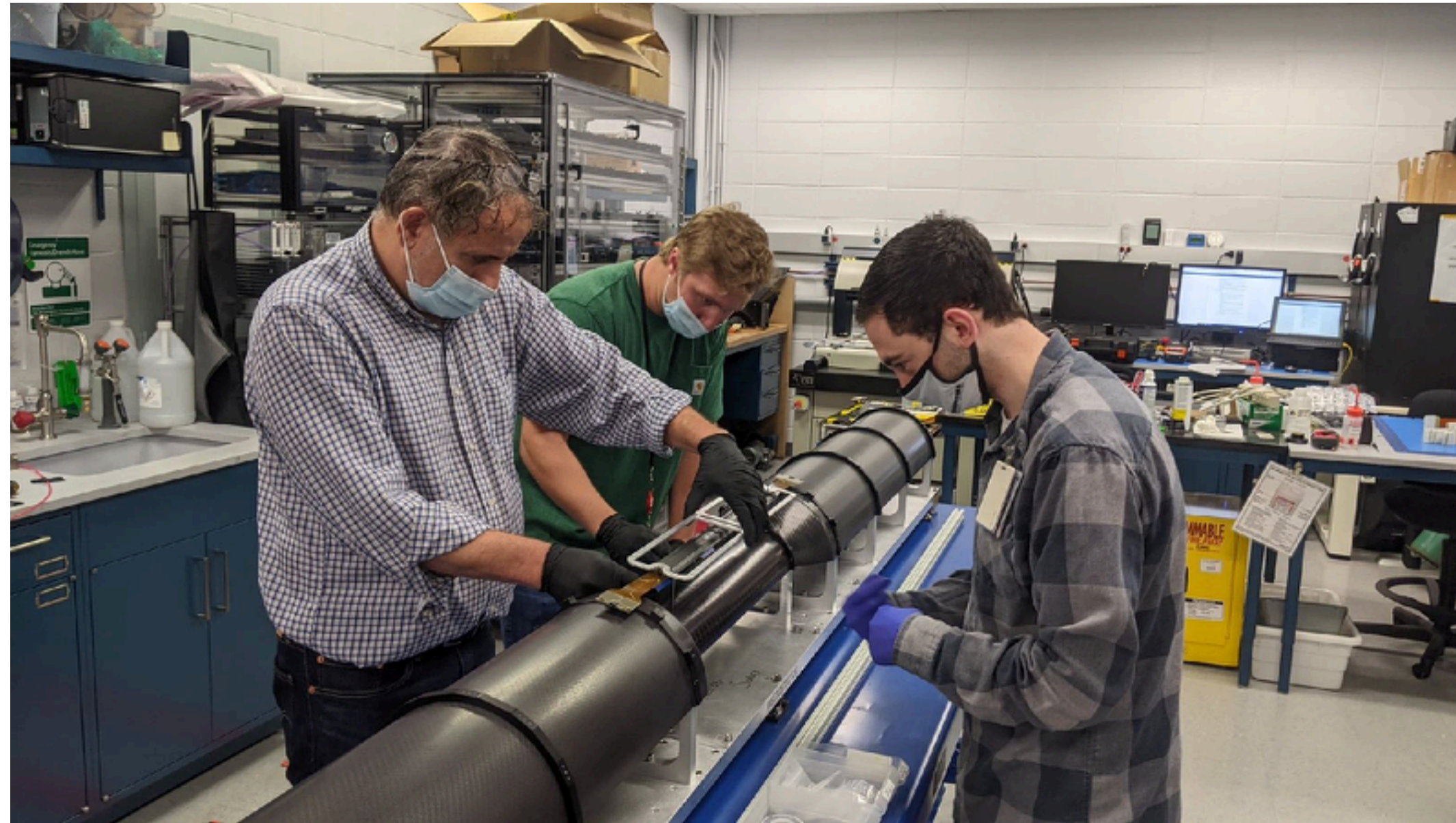
糠塚元気 (RBRC)





# BNLの様子

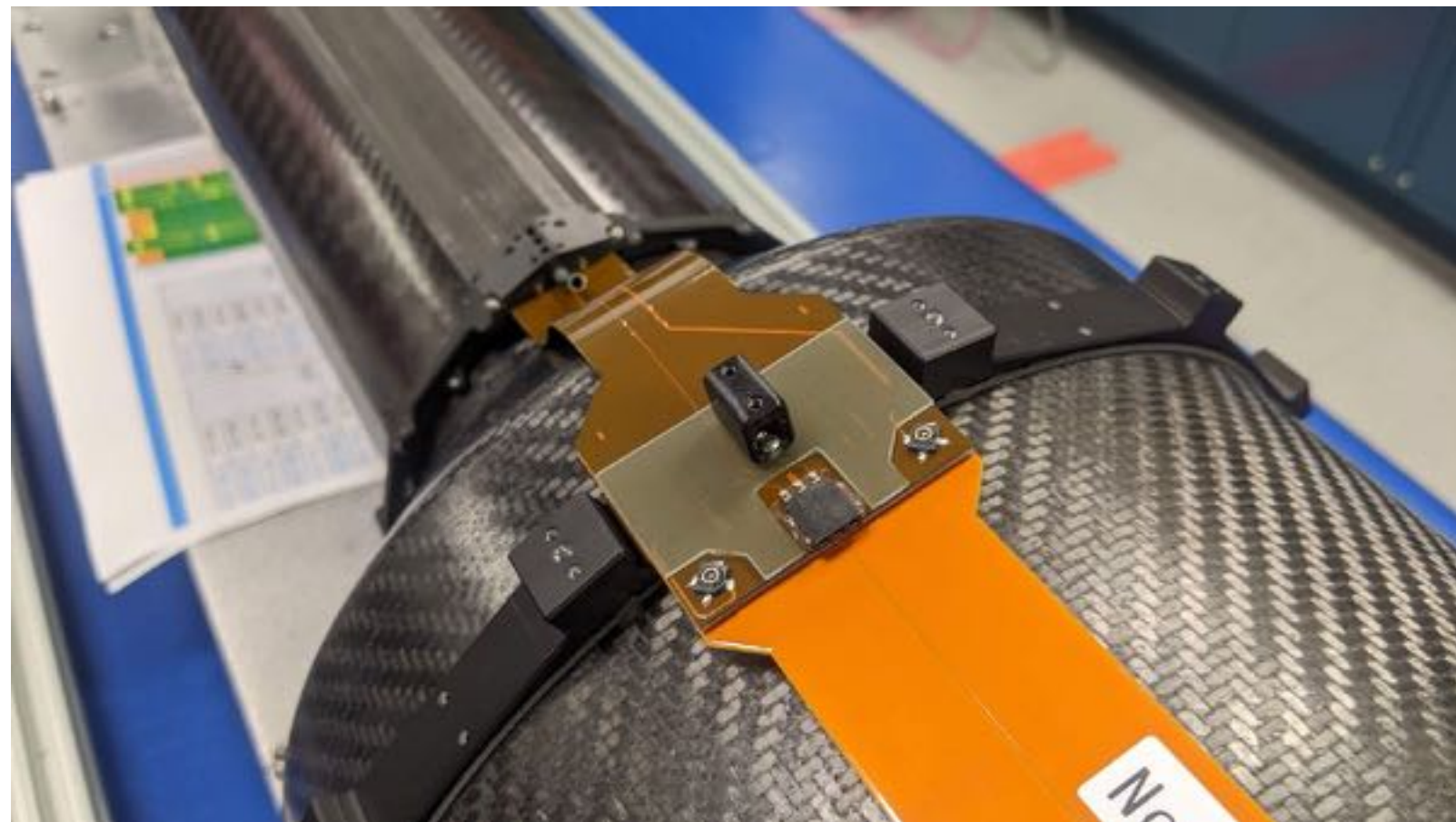
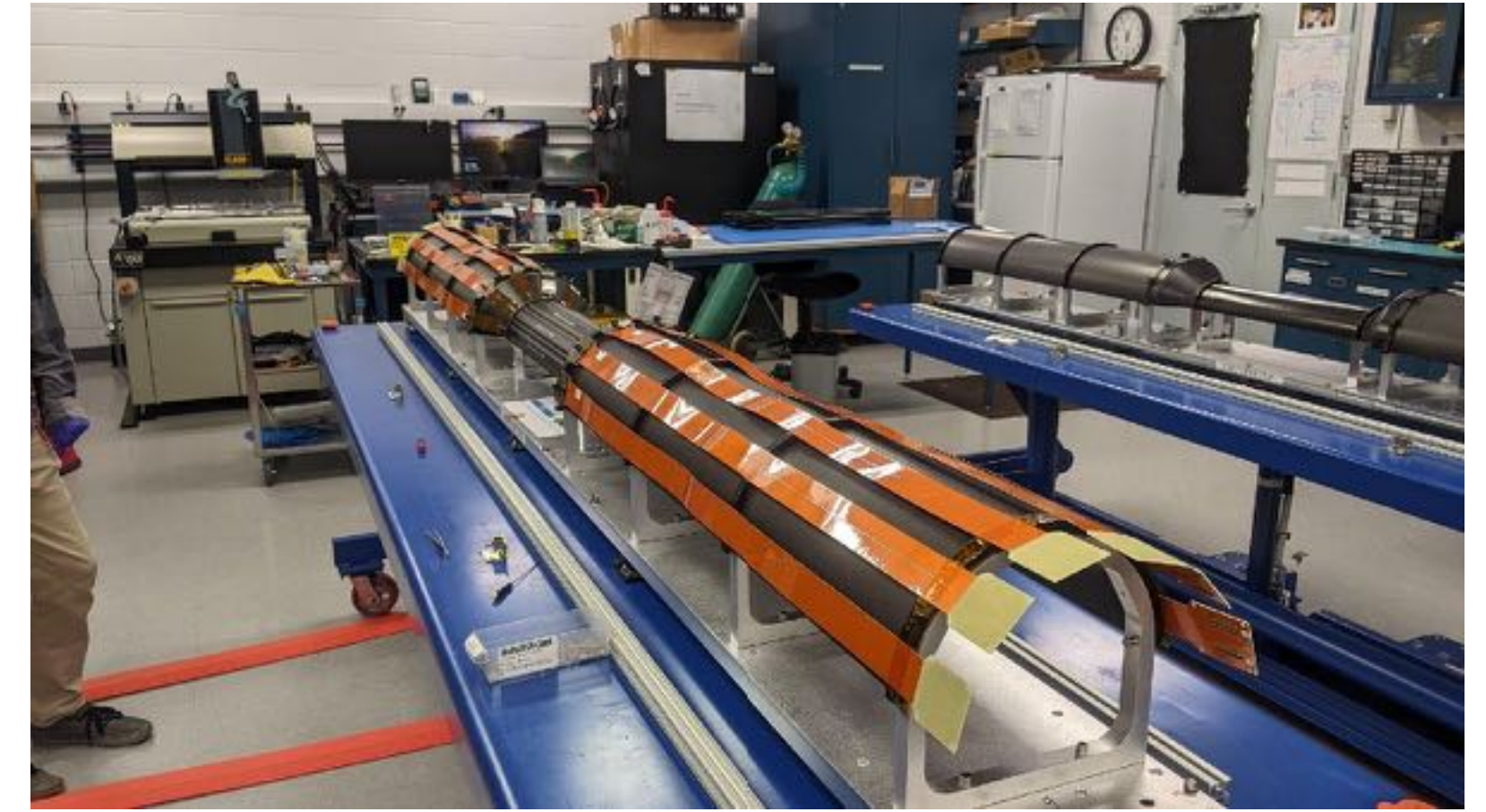
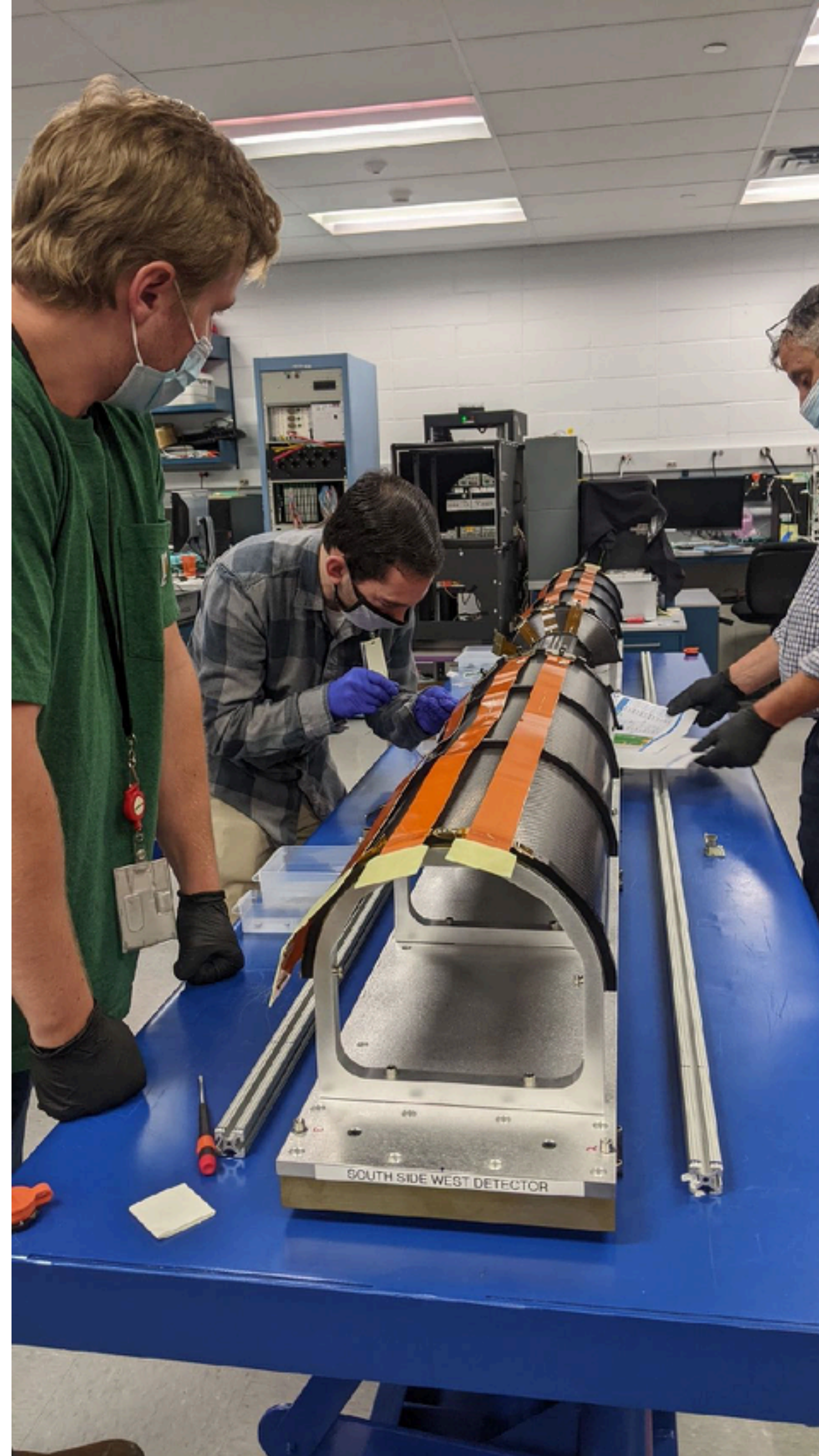
バレル構築が始まりました





# BNLの様子

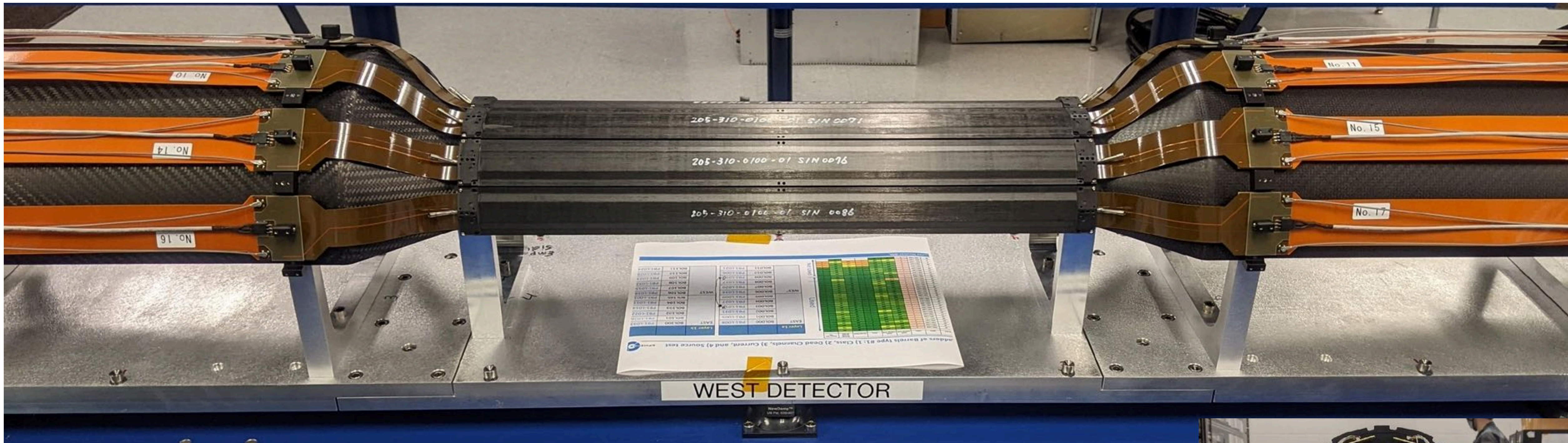
バレル構築が始まりました





# BNLの様子

バレル構築が始まりました



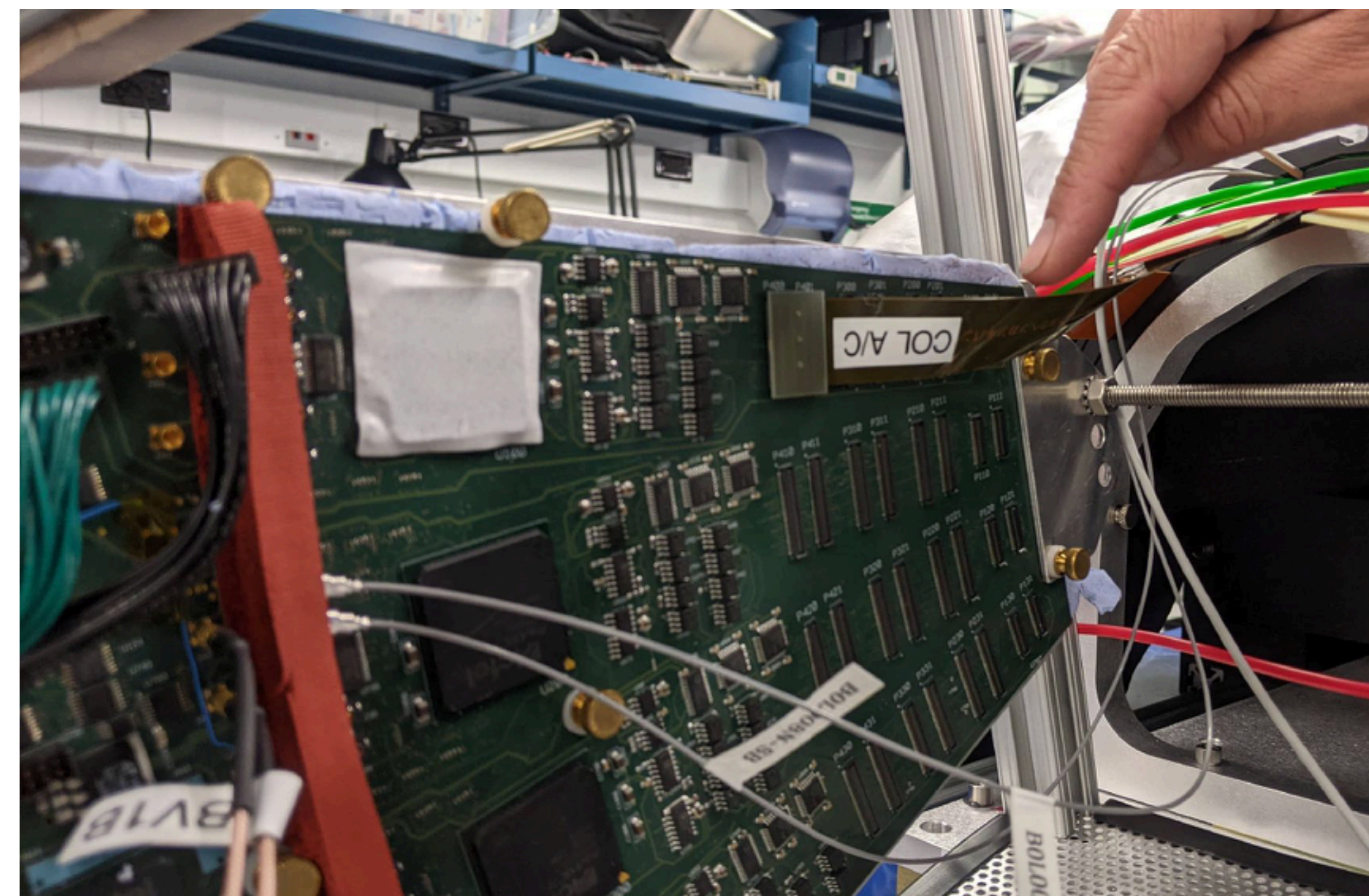
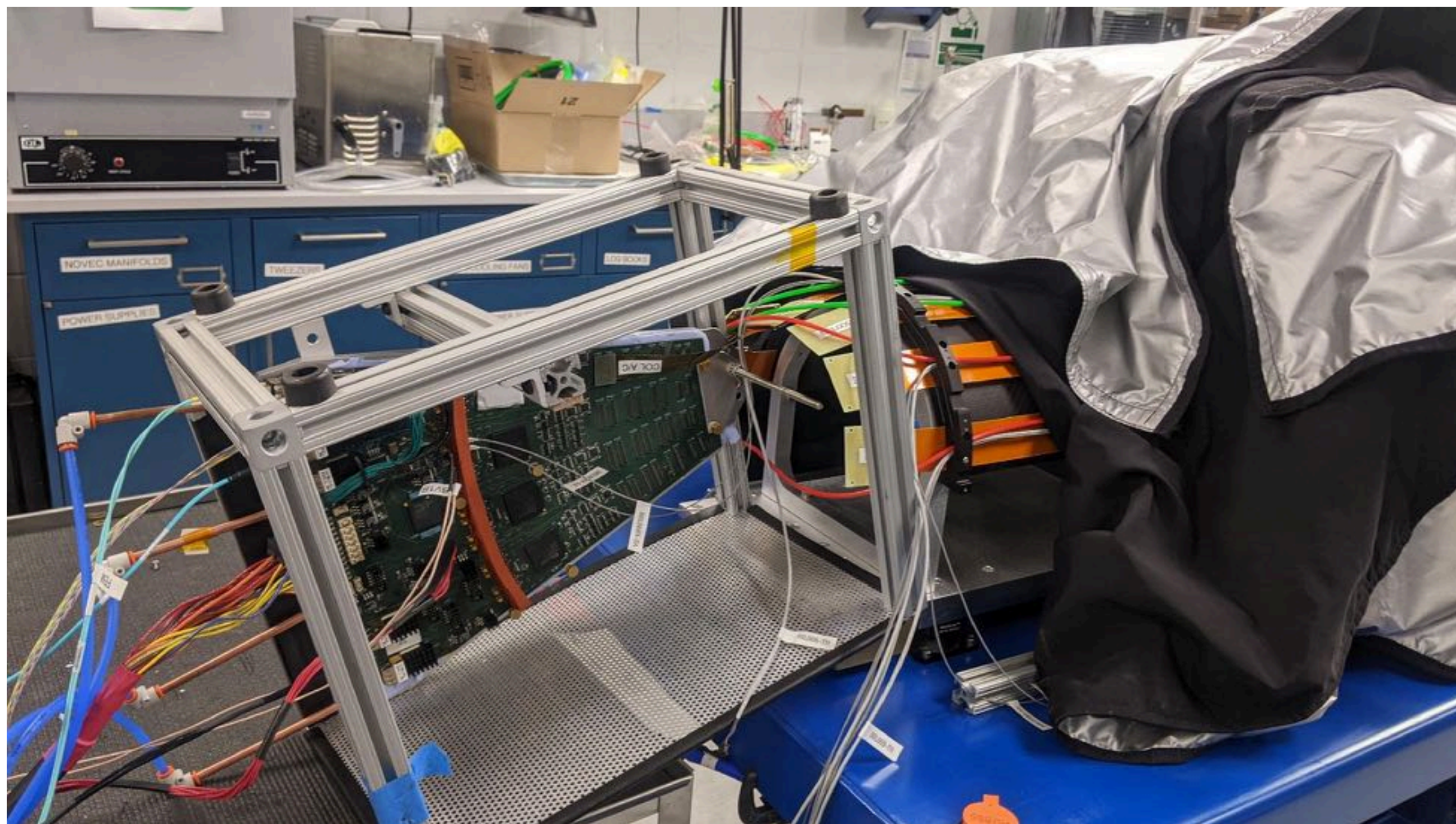






# マイクロ同軸ケーブルがほしい

バレルに組み込んだラダーと ROC の接続が非常に難しい。  
FPC conversion cable 20 cm ではほとんど無理。  
40 cm でもケーブルを捻る必要が出てくるので、  
できれば避けたい。





# チャンネル欠け

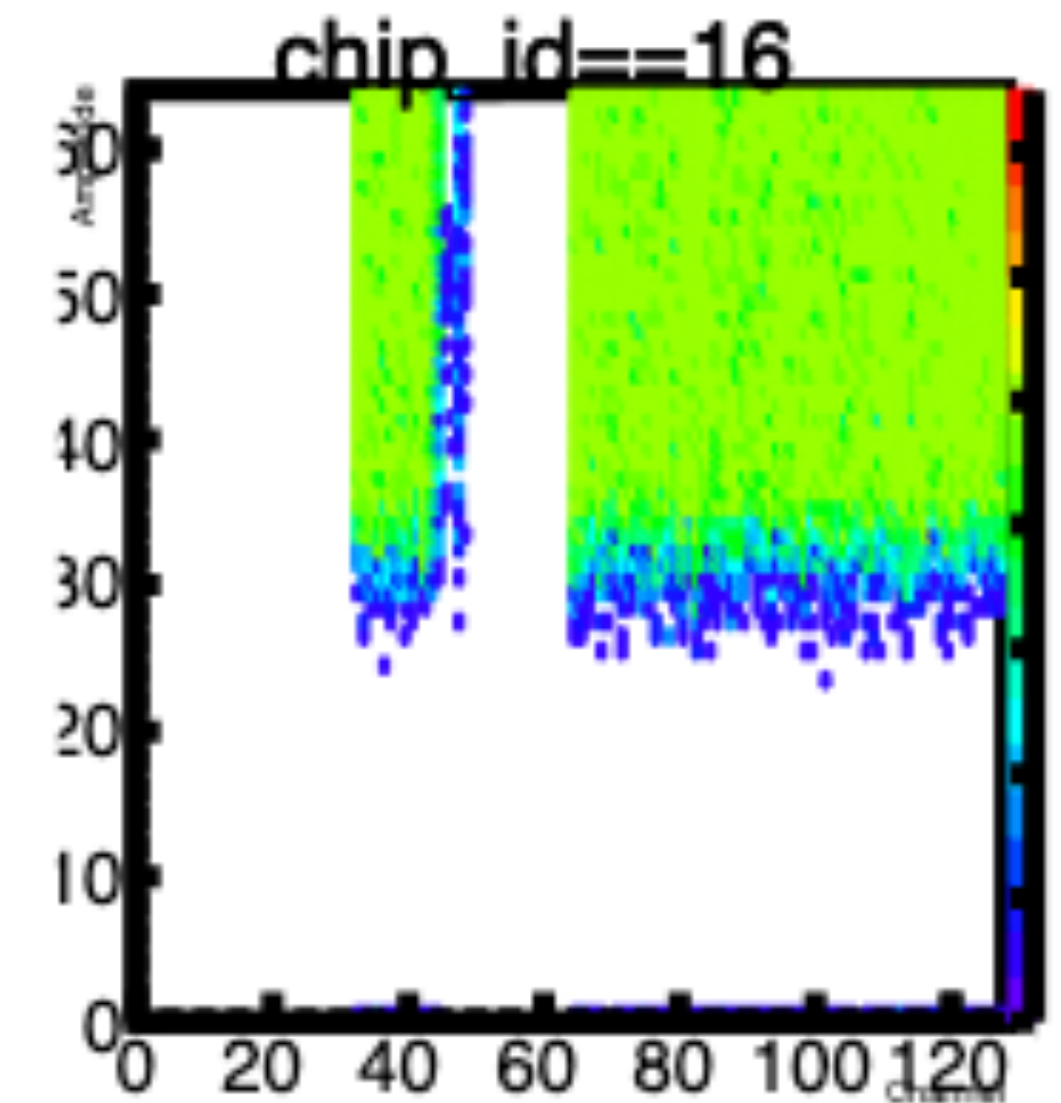
先週今井くんが報告していたチャンネル欠けが BNL でも時々起こります。

昔（数年前？）から観測されている現象ですが、

- なぜ起きるのか？（推測はできるけど確証は得られていないので、デバッグ時に色々な疑念を持ってしまう）
  - ケーブルの接触不良？
  - データ読み出し関係？
  - LVDS 設定値？
  - conversion cable の長さ、バスエクステンダーの有無に関係なく起こる
  - マイクロ同軸の conversion cable を使っても起こる
  - 一旦解消されると、その状態が維持される（多分）
  - ~~LAN ケーブル改造 BCO ケーブルを使うと???~~
- 解決方法は？
  - VME クレート（FEM, FEM-IB を入れるもの）、ROC、FPHX チップ電源の再起動をひたすら繰り返す
  - BCO ケーブル？

を説明する必要があります（FEM, FEM-IB 以外が理由なら検出器インストール後も時々起こるはず）。

なにかアイデアありませんか？



このプロットは先週の  
今井くんのスライドのもの



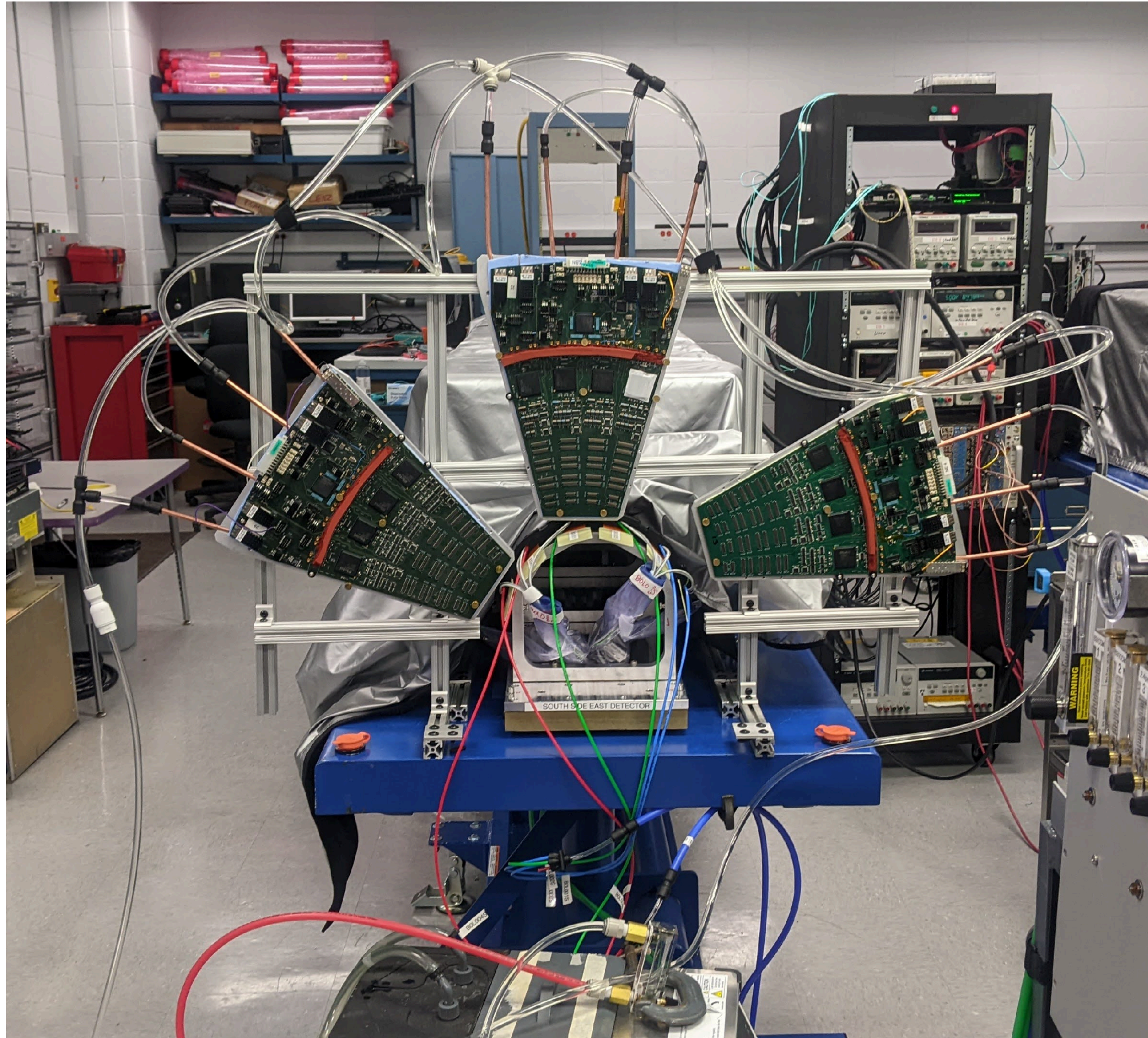
# BNLの様子



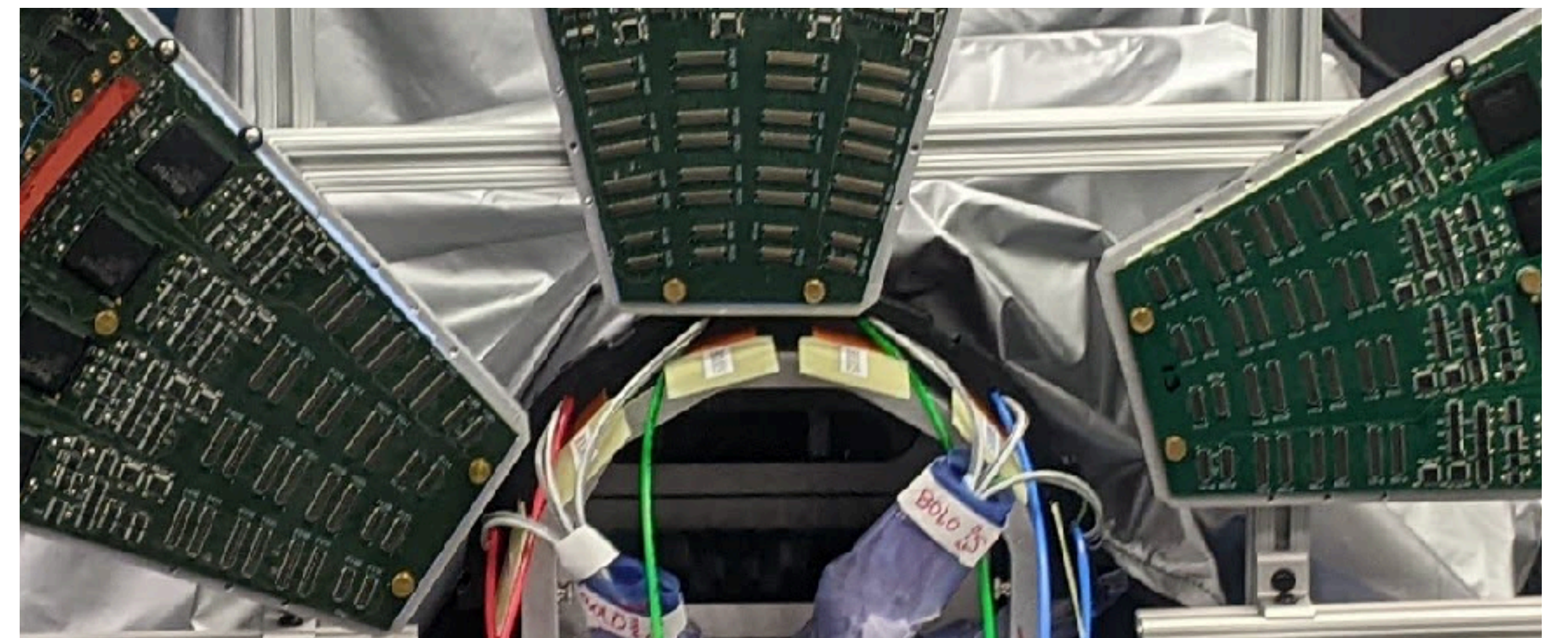
Nicholas Seberg  
<nseberg@bnl.gov>



# バレルに組み込んだラダーのテスト



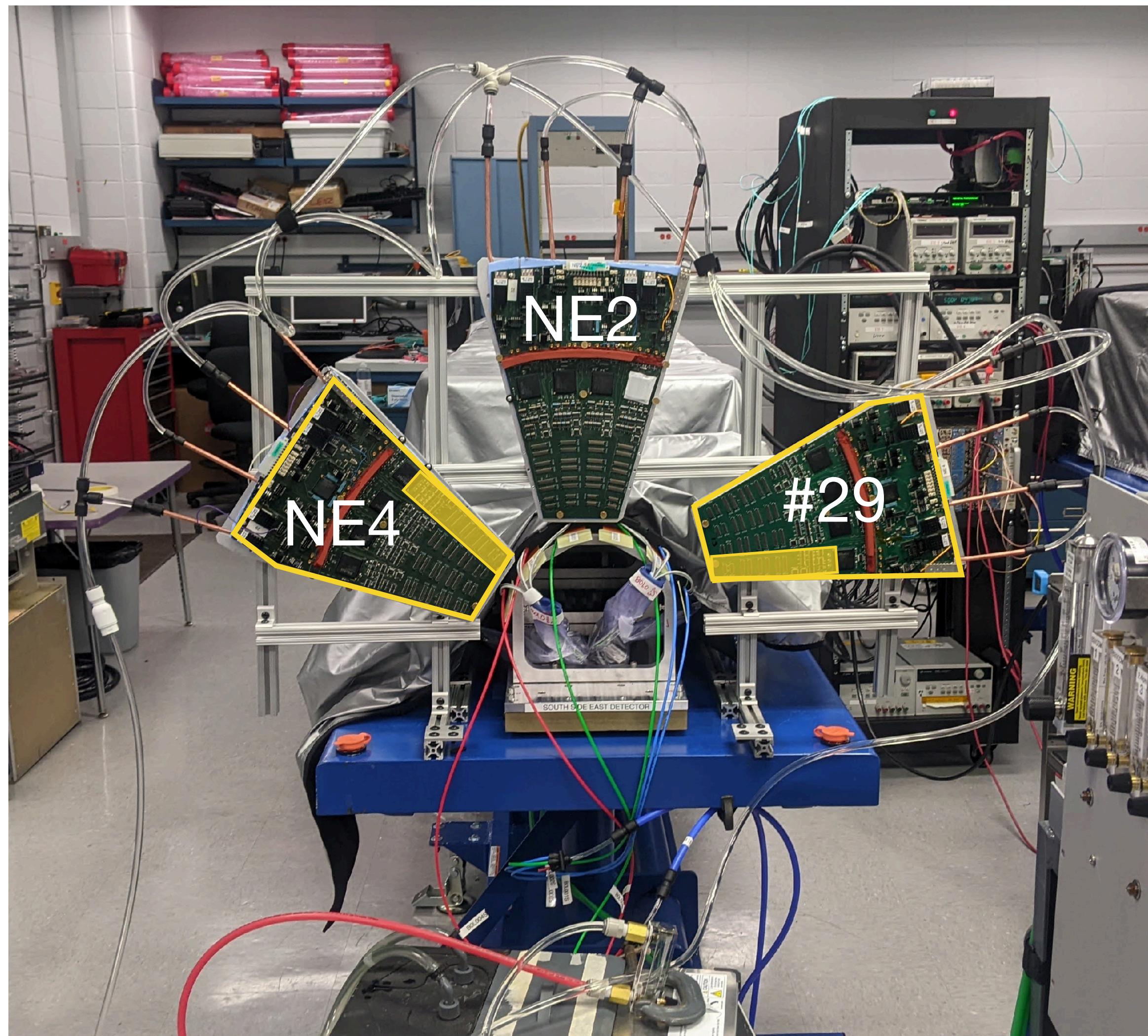
アルミフレームで架台を組み、バレルに組み込んだラダーのテストをはじめました。



バスエクステンダー — ROC の接続は ROC の位置を調整すればうまくできます。

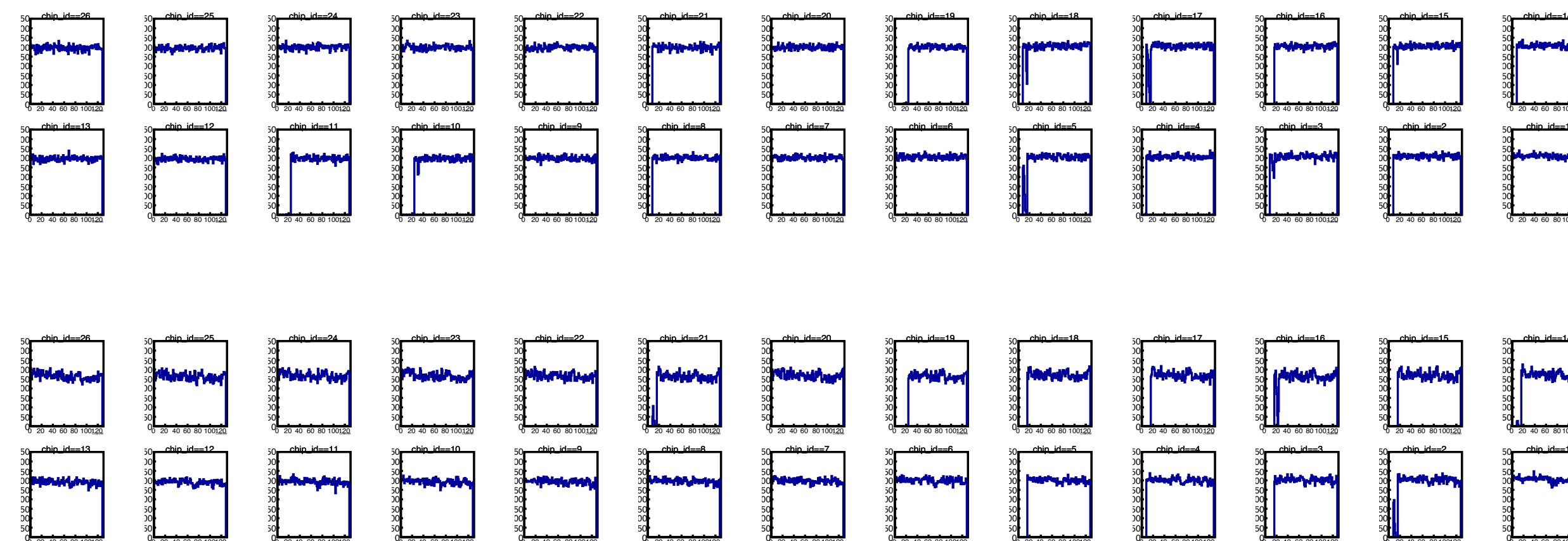


# バレルに組み込んだラダーのテストでチャンネル欠け



アルミフレームで架台を組み、バレルに組み込んだラダーのテストをはじめました。

ROC NE4 と #29 のカラム A でチャンネル欠けが頻発しています。



電源、VME クレートの再起動でも回避できていません。  
仕方がないので、カラム C を使っています。  
ROC NE2 ではほぼ起きません。  
ラダー依存はなさそうです。







# 内側バレルの外側レイヤー $B_0L_1$ の組み立て

